

令和5年度第1回 上里町地域公共交通活性化協議会資料

関交企第193号
関交推第46号
関自旅一第1440号
関海旅第771号
令和5年2月28日

各地域公共交通確保維持改善事業
実施協議会 会長 殿

関東運輸局長
(公印省略)

地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

標記について、地域公共交通確保維持改善事業実施要領（平成23年4月1日付け、国総計第5号、国鉄財第4号、国鉄業第4号、国自旅第20号、国海内第8号、国空環第5号）8.（1）②の規定に基づき、地域公共交通確保維持改善事業に係る二次評価を実施しましたので、評価結果を通知します。

令和4年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和5年1月20日

協議会名： 上里町地域公共交通活性化協議会
 評価対象事業名： 地域内ライダーシステム確保維持費用庫補助金

① 運行事業者	② 事業概要	③ 前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④ 事業実施の適切性	⑤ 目標・効果達成状況	⑥ 事業の今後の改善点（特記事項を含む）
株式会社協同バス	中央ルート 北部ルート 南部ルート	利用者アンケート調査、利用者OD調査については、実施した。 高齢者へのコミュニティバスの利用促進支援事業として実施している高齢者無料バスについては、交付対象者要件の変更により、発行件数が伸びた。交付者へは、交通安全講習会への参加が必須となるため、交通安全講習会開催時にバスの利用案内を積極的に実施していく。 また、コミュニティバス車内への有料広告掲載についても開始し、広報やHPで募集をすとも、バス停付近の商業施設へ個別訪問し掲載依頼をした。	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。 A B	【目標】 ①年間利用者数 19,300人 ②高齢者無料バスの発行件数 83人 【実績】 ①年間利用者数 14,489人 ②高齢者無料バスの発行件数 117人 【分析】 利用者数は昨年(13,335人)よりも増加したが、新型コロナウイルス感染症拡大以前に利用者数より少なく、新型コロナウイルス感染症の影響は大きい。また、令和3年3月実施した支線ルートのリート再編の影響も考えられる。 高齢者無料バスについては、対象年齢の引き下げに伴い発行件数が伸びた。	高齢者無料バス交付者数は増加しているものの、利用者の増加に至っていないため、利用者ニーズに対応した「わたしの時刻表」を活用を周知し、バス利用を積極的に促していく。 毎月、発行される広報へのバス関連記事の掲載に対する反響は大きいため、定期的にバス関連記事を掲載し、移動手段としての認知度を高めるよう努めていく。 駅を中心とした、まちづくりと連携し、「コンバクト・プラス・ネットワーク」の実現に向け、次期公共交通の運行形態についても検討していく。 持続可能な公共交通を実現するため、財源の確保を目的とした、コミュニティバス車内への広告掲載についても工夫していく。

地方運輸局等における二次評価結果（関東運輸局）	高齢者へのコミュニティバスの利用促進支援事業として実施している高齢者無料バス発行の取組について、交付要件を変更したことによる発行枚数の増加については評価できるが、年間利用者数の目標は未達成となった。利用が伸び悩んだ理由の分析結果を踏まえて、今後の施策の検討を進めていただきたい。 第三者評価委員会での有識者からの助言（下記）を、今後の検討の参考としていただきたい。 ・「地域」と「事業者」と「行政」の三者で役割分担を行い、地域（住民・利用者）が主体的に関与する仕組みを構築していただきたい。 ・アフターコロナ、ウィズコロナを見据え、利用促進に関するイベント等を実施できるよう、行政からもバックアップしていただきたい。
-------------------------	---

関交企第130号
令和4年9月29日

上里町地域公共交通活性化協議会
会長 江原 洋一 殿

関東運輸局長 新田 慎二
(公印省略)

令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）に係る地域公共交通計画又は生活交通確保維持改善計画の認定について

令和4年6月24日付け上交通協第10号で認定申請のあった「令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）に係る地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第5条第1項に規定する地域公共交通計画又は生活交通確保維持改善計画」については、地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱第10条の規定を準用する第18条、附則第2条により、令和4年9月28日付け国総地第46号をもって、国土交通大臣が地域公共交通確保維持事業に係る計画であるものとして認定したので、通知する。

「こむぎっち号」の運行状況及び利用状況について

(1) 「こむぎっち号」の運行状況について

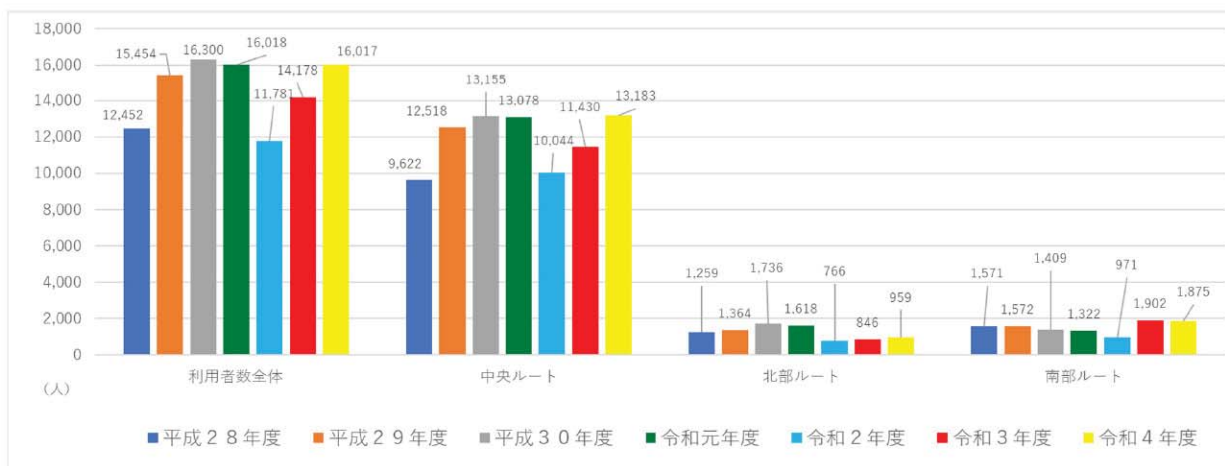
(2) 「こむぎっち号」の利用状況について

①令和4年度上里町コミュニティバス「こむぎっち号」利用実績

年月	利用者数全体	中央ルート		北部ルート			南部ルート		
		利用者数	運行日数	利用者数		運行日数	利用者数		運行日数
				アグリパーク 上里循環	ウニクス 循環		アグリパーク 上里循環	ウニクス 循環	
R4.4	1,339人	1,085人	26日	24人	37人	13日	94人	99人	13日
5	1,151人	938人	26日	36人	22人	13日	64人	91人	13日
6	1,313人	1,060人	26日	29人	81人	13日	63人	80人	13日
7	1,261人	1,019人	26日	33人	58人	13日	62人	89人	13日
8	1,415人	1,152人	27日	49人	59人	14日	64人	91人	13日
9	1,198人	992人	26日	29人	51人	13日	51人	75人	13日
10	1,479人	1,192人	26日	48人	46人	13日	73人	120人	13日
11	1,307人	1,100人	26日	26人	43人	13日	60人	78人	13日
12	1,321人	1,118人	24日	21人	40人	12日	52人	90人	12日
R5.1	1,231人	1,027人	23日	29人	31人	11日	65人	79人	12日
2	1,447人	1,202人	24日	43人	39人	12日	47人	116人	12日
3	1,555人	1,298人	27日	43人	42人	14日	60人	112人	13日
合計	16,017人	13,183人	307日	410人	549人	154日	755人	1,120人	153日
				959人				1,875人	
年間人数 昨年比 (%)	+1,839人 (113.0%)	+1,753人 (115.3%)	-1日	+113人 (113.4%)		+1日	-27人 (98.6%)		-2日

②年度毎の上里町コミュニティバス「こむぎっち号」利用者推移

年月	利用者数全体	中央ルート	北部ルート	南部ルート
		利用者数	利用者数	利用者数
H28	12,452人	9,622人	1,259人	1,571人
H29	15,454人	12,518人	1,364人	1,572人
H30	16,300人	13,155人	1,736人	1,409人
R1	16,018人	13,078人	1,618人	1,322人
R2	11,781人	10,044人	766人	971人
R3	14,178人	11,430人	846人	1,902人
R4	16,017人	13,183人	959人	1,875人



- ・令和4年度の総利用者数は前年度と比較すると約1割増となった。
- ・中央ルートについては、コロナ以前より利用者数が増加し、過去最高値となった。
- ・北部ルートについては、伸び悩んでいたが昨年度より約1割増となった。
- ・南部ルートについては、令和3年度は過去最高値となったが、令和4年度は利用減となった。

③ 「こむぎっち号」フリー降車の利用実績について

年 月	北部ルート				南部ルート			
	アグリパーク上里循環		ユニクス循環		アグリパーク上里循環		ユニクス循環	
	3バス停		12バス停		9バス停		7バス停	
	通常	フリー	通常	フリー	通常	フリー	通常	フリー
R4.4	0	0	15	1	3	10	21	7
5	0	0	5	0	7	9	17	4
6	0	0	11	20	4	9	18	6
7	0	0	21	8	3	9	17	11
8	0	0	21	6	3	10	12	14
9	0	0	12	1	3	9	11	5
10	0	0	11	0	4	7	20	9
11	0	0	17	0	4	6	13	5
12	0	0	14	0	2	9	12	6
R5.1	0	0	4	0	4	13	13	7
2	0	0	6	2	2	3	28	16
3	0	0	11	1	5	2	17	10
合 計 (昨年)	0回 (0回)	0回 (0回)	148回 (163回)	39回 (25回)	44回 (75回)	96回 (113回)	199回 (204回)	100回 (70回)
フリー降車 の割合(昨年)	0% (0%)		20.9% (13.3%)		68.6% (60.1%)		33.4% (25.5%)	

- ・ユニクス循環については、北部、南部ルートともに、昨年度よりフリー降車人数及び降車割合が増加した。
- ・南部ルート（アグリパーク循環）では、昨年度よりフリー降車割合は増加したが、フリー降車区間での全体の降車人数は減少した。

④ 高齢者無料パスの利用実績について

令和4年度(月)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
申請者数(人)	0	0	18	0	0	51	41	16	7	9	17	2	161
申請者数累計(人)	0	0	18	0	0	69	110	126	133	142	159	161	161
利用者数(人)	45	22	36	44	34	111	280	255	239	223	234	303	1,826

- ・ 高齢者無料パスの交付要件を9月に緩和したため、9月以降の申請者が増え、高齢者無料パスを利用する方が増えた。
- ・ 高齢者無料パスを利用する方が増えたが、微増であるが利用者数全体の増加には繋がっている。

⑤ 「こむぎっち号」無料乗車キャンペーンの実施について

利用実績 36人

内訳：中央ルート 26人、北部ルート（ウニクス循環）3人、


南部ルート（アグリパーク上里循環）2人、南部ルート（ウニクス循環）5人

『こむぎっち号』
お試し乗車券

令和4年
12月28日(水)まで有効
きりとり

『こむぎっち号』
お試し乗車券

令和4年
12月28日(水)まで有効
きりとり



無料乗車
キャンペーン

「こむぎっち号」に乗ってお出かけしてみませんか？

利用したことがある方も、初めて利用する方も、これを機に「こむぎっち号」に乗ってお出かけしてみませんか？
乗り方は簡単です。まずは「こむぎっち号」に乗ってみて、ご意見・ご感想をお聞かせください。

【有効期限】 12月28日(水)まで

【使用方法】 広報から1枚ずつ切り離して、降車時に運転士に提示の上、運賃箱へ入れて下さい

※両替、換金は一切できません

※コピーしたものは無効です

※再発行はできません

広報かみさと 令和4年12月

⑥バス周知及び利用者増加のための取組

- 時刻表の見方や乗り継ぎが分からない方向けに『わたしの時刻表』を作成
令和4年度 作成件数 42件 (申込者数 23名)
- 高齢者無料パスの交付
令和4年度 交付者数 161名
- 県の取り組みである「バスまちスポット」への登録
令和4年度時点：町内公共施設8か所、町内商業施設9か所。
- 利用者の満足度調査のために『利用者アンケート』を実施。令和5年度も実施予定。
- OD調査(起点 origin と終点 destination を移動目的・交通手段等とともに把握する)を実施。
令和5年度も実施予定。

【参考】こむぎっち号のダイヤ改定等歴

(1) 平成28年3月

「町内巡回バス」を「こむぎっち号」として再編。月～土曜日(祝日含む)に3ルート(中央ルート、北部ルート、南部ルート)運行。

(2) 令和元年9月

北部ルートと南部ルートを隔日運行とし、増便を図るとともに、1便あたりの所要時間を短縮。

(3) 令和3年3月

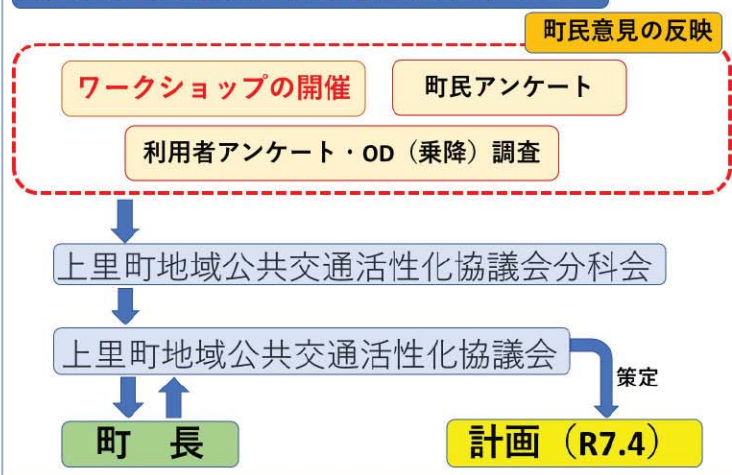
北部ルートと南部ルートの2ルート往復型を再編し、4ルート循環型とした。1ルートあたりの所要時間を短縮するとともに、増便を実施。

上里町の公共交通を考えるワークショップ 開催概要報告

町では、公共交通の利用促進、町全体の公共交通ネットワークのあり方や令和7年度からの導入交通形態の検討を行っており、その一環として、ワークショップを開催しました。

◆参加者：10名

計画策定（次期導入交通形態選定含む）フロー



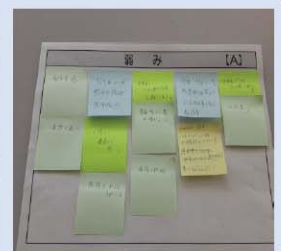
◆◆◆ テーマ「上里スタイル」 ◆◆◆
町の地域性を踏まえた“上里らしい公共交通のあり方”を検討

第1回：令和5年2月18日

◆上里町の公共交通等の現状説明

◆グループ討議

SWOT分析（内部に持つ「強み・弱み」と外部から影響を受けると考えられる「機会・脅威」をそれぞれ整理しながら分析を進める手法）を用いて課題の整理。



第2回：令和5年3月4日

◆グループ討議

- ①マトリックス表（全体像を明確にすることができる。意思決定する上で、何をすべきかはっきりさせられるというメリットがある）を用いて課題の整理。
- ②「対象者」「交通の手段」を中心に、「上里らしい公共交通」を考え、提案シートを作成。

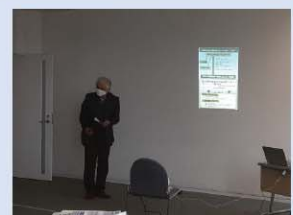


第3回：令和5年3月18日

◆グループ討議

提案シートをもとに、グループとしての「上里スタイル」を討議。

◆グループ発表



上里町の公共交通を考えるワークショップ° Aグループ

課題：税金を無駄に使わない

＝ 納税者間の公平

全町民の要求を把握する

- ・運行時間について考える
- ・通勤時間帯も運行する
- ・行先の多様性を把握する
- ・他の交通手段との連携を考える
- ・効率のよい乗り継ぎを考える
- ・路線が制約されないようにする
- ・バス停の環境を改善する

利用者増加

PR強化

コミュニティバスの継続

改良案

- ◆ルートの見直しが必要
- ◆利用者が少ないバス停の廃止を検討
- ◆乗り継ぎの効率をあげる
- ◆利用目的が生活の手段から幅広い利用へ

<利用対象者>

現状の高齢者＋通勤・通学者＋町民以外

上里町の公共交通を考えるワークショップ Bグループ

町内公共交通を充実させる

人口増加

利用者増加

- ・利便性を向上させる
- ・若い人が利用できる仕組みを考える
- ・便数を増やす
- ・全てのバス停が利用されるようにする
- ・目的地までの速達性を確保する
- ・定期券や回数券の導入

団体との連携強化・地域のコミュニティの活用

誰でも利用可能なものではなく使う人をメイン

- ◆高齢者等 ⇒⇒⇒ 現状と同様に平日の日中
- ◆通学・通勤者 ⇒⇒⇒ 休日をメインに商業施設へのアクセス向上

新たな交通形態

◎中央：コミュニティバス

北部・南部ルートは廃止。
中央ルートのみにし、現状より充実したものへ

◎北部・南部：デマンド

隔日運行の解消
乗降所は配車効率を考え、自宅ではなく商業施設や地区集会所等を活用

令和4年度上里町地域公共交通活性化協議会事業報告

<p>令和4年6月20日(月) 役場 4階 大会議室</p>	<p>上里町地域公共交通活性化協議会委員委嘱</p> <p>第1回上里町地域公共交通活性化協議会</p> <p>○報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「こむぎっち号」の運行状況及び利用状況について ・「ミライロID」の導入について ・生活交通確保維持改善計画認定について <p>○協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度上里町地域公共交通活性化協議会事業報告 ・令和3年度上里町地域公共交通活性化協議会歳入歳出決算報告 ・令和3年度上里町地域公共交通網形成計画の達成状況の評価(案) ・令和4年度上里町地域公共交通活性化協議会事業計画(案) ・令和4年度上里町地域公共交通活性化協議会歳入歳出予算(案) ・交通不便地域指定について(案) ・上里町生活交通確保維持改善計画の変更【令和4～6年度分】(案) ・上里町生活交通確保維持改善計画【令和5～6年度分】(案) ・バス停の移設について(案) ・高齢者無料バス交付事業の交付対象者の拡充について(案)
<p>令和4年10月26日(水) 役場 4階 大会議室</p>	<p>第2回上里町地域公共交通活性化協議会</p> <p>○報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「こむぎっち号」の運行状況及び利用状況について <p>○協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上里町地域公共交通活性化協議会設置要綱の一部改正について(案) ・上里町地域公共交通網形成計画の変更について(案) ・「こむぎっち号」無料乗車キャンペーンの実施について(案) ・次期導入形態の検討(検討体制・スケジュール等)について(案)
<p>令和5年1月20日(金) 書面協議</p>	<p>第3回上里町地域公共交通活性化協議会</p> <p>○報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「こむぎっち号」利用者アンケート集計結果について ・「こむぎっち号」車内への無料広告掲載の実施について <p>○協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価について

令和 4 年度上里町地域公共交通活性化協議会歳入歳出決算

1 歳入

単位：円

款	項	目	予算現額	収入済額	比較	備考
1	負担金	1 負担金	50,000	50,000	0	上里町より
2	補助金	1 補助金	0	0	0	
3	繰越金	1 繰越金	27,343	27,343	0	令和 3 年度繰越金
4	諸収入	1 雑入	0	0	0	預金利子
合計			77,343	77,343	0	

2 歳出

単位：円

款	項	目	予算現額	支出済額	残額	備考
1	1	会議費	50,000	30,000	20,000	・ 会議運営費
	2	事務費	17,343	6,540	10,803	・ 切手代 等
2	事業費	1 事業費	0	0	0	
3	予備費	1 予備費	10,000	0	10,000	
合計			77,343	36,540	40,803	

総収入額	—	総支出額	=	翌年度繰越額
77,343	—	36,540	=	40,803

令和4年度会計監査報告について

令和4年度上里町地域公共交通活性化協議会収支決算及び予算執行の
状況を令和5年4月24日に関係書類帳簿により監査したところ、適正かつ
正確であることを認めます。

令和5年4月24日

監 事

山田真司 

監 事

山田 隆 

上里町地域公共交通活性化協議会

会 長 島 田 邦 弘 様

上里町地域公共交通網形成計画の達成状況の評価について 【対象年度：令和4年度】

上里町地域公共交通網形成計画では、計画に位置づけた「事業実施状況や目標達成状況を評価・検証」を本協議会において評価することとしている。

【目標1】町内公共交通の利便性向上により公共交通利用者の増加を図る

施策	評価指標	年度						R6	R5	R4	R3	R2	R1	今後の改善点
		目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率							
「こむぎっちょ」(定時定路線)の検証、次期公共交通の導入可能性の検討	年間利用者数	目標値	17,500人	18,700人	19,900人	21,100人	22,300人						引続き、利用促進の取組みを実施していき、利用者増加に努める。	
		実績値	11,781人	14,178人	16,017人									
		達成率	67.3%	75.8%	80.5%									
交通結節点の整備	乗り換え利用有無(利用者OD調査により把握)	目標値	2%	2%									「わたしの時刻表」の活用を促し、今後も引き続き、効率的な乗り換え案内を実施していく。不満と回答した方は5%、無回答者は38%であり、無回答を除くと満足度は91.9%である。アンケートの回答精度を上げる工夫をしていく。	
		実績値	3.6%	17.3%										
		達成率	179%	865%										
高齢者の公共交通利用支援	高齢者無料バスの発行件数	目標値	54件	73件	92件	111件	130件					引続き、制度周知を実施し、高齢者の公共交通利用支援となるよう努める。目標値を大きく達成したため、評価指標の見直しを検討する。		
		実績値	36件	48件	209件									
		達成率	66.7%	65.8%	175.0%									
-	全体満足度(利用者意見調査により把握)	目標値	-	-	80%							不満の要因は「運行時間、運行便数」であった。次期導入形態検討の際には、現状の課題として解決策等を検討していくとともに、アンケートの回答精度を上げていく必要がある。		
		実績値	-	69%	57%									
		達成率	-	-	71.3%									

【目標2】持続可能な公共交通を実現する

施策	評価指標	年度						R6	R5	R4	R3	R2	R1	今後の改善点
		目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率							
運賃収入の確保	町の費用負担割合	目標値	16.6%	16.6%	16.6%	16.6%	16.6%						引続き燃料が高騰状態であるため、総支出は増加傾向にある。少しでも利用者数を増やさせ、運賃収入が増加となるよう努める。	
		実績値	15.6%	16.1%	17.2%									
		達成率	106.4%	103.1%	96.50%									
財源の確保	広告掲載数	目標値	135,840円	152,970円	145,605円	年間運賃収入の15%							引続き、掲載につながるよう周知を実施していく。	
		実績値	0	0	0									
		達成率	0%	0%	0%									
広報・チラシ、「乗り方教室」等による啓発活動	交通安全教室と連携したバスの乗り方教室等、啓発活動の開催回数	目標値	年1回	年1回	年1回	年1回	年1回					こむぎっちょ号利用へのハードルが下がると同時に、積極的に利用促進をしていく。		
		実績値	年1回	年1回	年3回									
		達成率	100%	100%	300%									

令和5年度上里町地域公共交通活性化協議会事業計画（案）

1 交通計画の策定

上里町生活交通確保維持改善計画(フィーダー系統)【対象期間:令和6年~8年度】の策定。

2 上里町地域公共交通網形成計画の実施

上里町地域公共交通網形成計画に基づく各施策の実施及び達成状況の評価。

3 定時定路線の検証と次期公共交通についての検討を実施

定時定路線の検証と併せて、次期運行形態について検討

4 利用状況の把握(OD(利用区間)調査及び支線停留所調査の実施)

利用状況の実態を把握するため、利用区間や利用目的等を調査する。

利用の伸び悩んでいる支線ルートについては、停留所の利用状況について調査する。

利用者アンケートについては、利用目的や満足度の他、他の公共交通に関する意向も調査する。

5 運転免許証自主返納者及び高齢者に対する軽減措置の実施

引き続き運転免許証自主返納者及び交通安全講習を受講した高齢者に対し、こむぎっち号の運賃軽減措置を実施する。

6 上里町地域公共交通計画の策定(令和5・6年度で策定予定)

現計画の基本的な考え方を引継ぎながら、将来にわたり持続可能な地域全体の公共交通を形成する上里町地域公共交通計画を策定する。

7 会議の開催

年8回(協議会5回、分科会3回)程度の交通会議を開催する。

内 容	令和5年度												令和6年度		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
生活交通確保維持改善計画	策定・提出									事業評価					
上里町地域公共交通網形成計画の実施	達成状況評価														
定時定路線の検証と次期公共交通についての検討を実施	検討						報告								
OD(利用区間)調査								報告							
運転免許証自主返納者及び高齢者に対する軽減措置の実施	実施														
上里町地域公共交通計画の策定		アンケート策定		検討		検討		検討		検討		検討・報告			
交通協議会の開催(協議会)															
交通協議会の開催(分科会)															

令和 5 年度上里町地域公共交通活性化協議会歳入歳出予算 (案)

1 歳入 単位：円

款	項	目	金額	備考
1 負担金	1 負担金	1 負担金	80,000	上里町より
2 補助金	1 補助金	1 補助金	0	
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	40,803	令和 4 年度繰越金
4 諸収入	1 諸収入	1 雑入	0	預金利子
合計			120,803	

2 歳出 単位：円

款	項	目	金額	備考
1 運営費	1 会議費	1 会議費	80,000	・会議運営費
	2 事務費	1 事務費	20,803	・切手代 等
2 事業費	1 事業費	1 事業費	0	
3 予備費	1 予備費	1 予備費	20,000	
合計			120,803	

協議事項6 上里町生活交通確保維持改善計画【令和6～8年度分】(案)について

【計画の概要】

上里町生活交通確保維持改善計画は、国土交通省所管の「地域公共交通確保維持事業費補助金」の申請にあたり、事業(ここではコミュニティバス『こむぎっち号』の運行)の目的や必要性、目標や効果、費用等を記載し、上里町地域公共交通活性化協議会で毎年度策定するもの。

なお、計画は向こう3か年の内容を記載するため令和6～8年度分となっている。

【補助金を申請するための要件】

導入する(もしくは実施している)公共交通サービスが…

- ①補助対象地域間幹線バス系統を補完するもの
- ②過疎地域や交通不便地域の移動確保を目的とするもの

→→→上里町は①②を要件として補助金の申請を行うこととする。

【補助対象期間】

令和5年10月1日から令和6年9月30日

【補助対象路線】

上里町は5路線(中央ルート・北部ルート・南部ルート)すべてが補助対象路線となる予定。

【補助対象事業者】

(株)協同バス

令和5年6月26日

上里町地域公共交通活性化協議会

生活交通確保維持改善計画の名称
上里町生活交通確保維持改善計画
1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性
<p>上里町は、埼玉県の最北端に位置しており、北西部には神流川が流れ、群馬県との県境を成し、町内全域が平坦な地形を呈しています。面積は29.18km²、人口は30,769人（令和3年3月31日現在）となっています。広域交通網である関越自動車、JR高崎線、上越新幹線、国道17号が町内を横断しており、本町の広域交通網における交通結節施設として、JR高崎線神保原駅が町内にあります。また、町内には民間路線バスが1路線運行されております。</p> <p>鉄道駅やバス路線がカバーしている地域は、JR高崎線神保原駅の1km圏域と南部の県道22号線で運行しているバス停の1km圏域であり、本町の約61%の面積がいわゆる交通空白地域となっています。</p> <p>平成15年より運行をしてきた無償の町内巡回バスは、交通空白地域をカバーしているものの、運行本数が1日4本程度と少ないため、運行距離の長距離化につながっていました。また、町内の人口は中心部を除き、薄く広い分布となっており、町全体が低密度な公共交通網となっています。さらに、自動車免許の保有、自家用車両の保有は90%近くあり、自家用車への依存度が高い傾向にあります。しかし、これから高齢化が更に進行していく中で、アンケート結果からも70%以上の方が将来の移動手段に関して不安を抱いています。このような中で、高齢者や障害者などの交通弱者の日常の買い物、通院などの移動手段の確保が課題となっています。</p> <p>令和2年3月に策定しました「上里町地域公共交通網形成計画」に基づき、町内公共交通ネットワークを充実させることで交通不便地域を解消します。また、町民の誰もが利用しやすい公共交通を構築することを目的とし、地域公共交通確保維持改善事業に取り組みます。</p> <p>町内の公共交通ネットワークを充実させるためには、基軸となる鉄道駅や路線バスに接続するフィーダー系統の運行が必要であります。</p>

2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果
(1) 事業の目標
<p>上里町地域公共交通網形成計画に基づく目標</p> <p>年間利用者数：令和6年度 全体目標者数：21,750人 令和7年度 全体目標者数：22,300人 令和8年度 全体目標者数：22,300人</p> <p>高齢者無料パスの発行件数：令和6年度 全体目標者数：280人 令和7年度 全体目標者数：300人 令和8年度 全体目標者数：300人</p> <p>(上里町地域公共交通網形成計画 P.83-91 参照 ※目標値補足資料)</p>
(2) 事業の効果
<ul style="list-style-type: none"> ・交通不便地域の解消 ・高齢者・障害者など交通制約者の生活圏域内における移動手段の確保 ・交通ネットワークの連携により、効率的な運行体系が図られる
3. 2. の目標を達成するために行う事業及びその実施主体
<p>○上里町が実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時刻表の見方や乗り継ぎが分からない方のために『わたしの時刻表』作成 ・埼玉県が取り組んでいる『バスまちスポット』への登録施設の拡充 ・高齢者無料パス交付事業の充実 ・利用者の満足度を調査し、利便性向上を図るため『利用者アンケート』を実施 (上里町地域公共交通網形成計画 P.91参照) ・次期運行形態決定のための定時定路線の検証(上里町地域公共交通網形成計画 P.84-87参照) <p>○運行予定者(株式会社協同バス)が実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用実態を把握するためOD調査及び支線停留所利用状況調査を実施 (上里町地域公共交通網形成計画 P.91参照)
4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者
別添の表1のとおり。
5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の負担者
上里町から運行事業者への補助金額については、運賃収入及び国庫補助金を運行経費から差し引いた差額分を負担することとしている。

6. 補助金の交付を受けようとする補助対象事業者の名称
株式会社協同バス
7. 補助を受けようとする手続きに係る利用状況等の継続的な測定方法 【活性化法法定協議会を補助対象事業者とする場合のみ】
※該当なし
8. 別表1の補助対象事業の基準二ただし書に基づき、協議会が平日1日当たりの運行回数が3回以上で足りると認めた系統の概要 【地域間幹線系統のみ】
※該当なし
9. 別表1の補助対象事業の基準ハに基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」認めた市町村の一覧 【地域間幹線系統のみ】
※該当なし
10. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項 【地域間幹線系統のみ】
※該当なし
11. 外客来訪促進計画との整合性 【外客来訪促進計画が策定されている場合のみ】
※該当なし
12. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要 【地域内フィーダー系統のみ】
別添の表5のとおり。
13. 車両の取得に係る目的・必要性 【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
※該当なし

14. 車両の取得に係る定量的な目標・効果 【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
(1) 事業の目標 ※該当なし
(2) 事業の効果 ※該当なし
15. 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者、要する費用の負担者 【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
※該当なし
16. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画（車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策） 【公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
※該当なし
17. 貨客混載の導入に係る目的・必要性 【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
※該当なし
18. 貨客混載の導入に係る定量的な目標・効果 【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
(1) 事業の目標 ※該当なし
(2) 事業の効果 ※該当なし
19. 貨客混載の導入に係る計画の概要、要する費用の総額、内訳、負担者及び負担額 【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
※該当なし

20. 協議会の開催状況と主な議論

【令和4年度】

第1回 上里町地域公共交通活性化協議会 令和4年6月20日（月）

- ・交通不便地域指定について（案）
- ・上里町生活交通確保維持改善計画の変更【令和4～6年度分】（案）
- ・上里町生活交通確保維持改善計画【令和5～7年度分】（案）
- ・バス停の移設について（案）
- ・高齢者無料パス交付事業の交付対象者の拡充について（案）

第2回 上里町地域公共交通活性化協議会 令和4年10月26日（水）

- ・上里町地域公共交通活性化協議会設置要綱の一部改正について（案）
- ・上里町地域公共交通網形成計画の変更について（案）
- ・「こむぎっち号」無料乗車キャンペーンの実施について（案）
- ・次期導入形態の検討（検討体制・スケジュール等）について（案）

第3回 上里町地域公共交通活性化協議会 令和5年1月20日（金）

- ・地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価について（案）

【令和5年度】

第1回 上里町地域公共交通活性化協議会 令和5年6月19日（月）

- ・令和4年度上里町地域公共交通網形成計画の達成状況の評価（案）
- ・令和6年度上里町生活交通確保維持改善計画【令和6～8年度分】（案）
- ・上里町地域公共交通網形成計画の変更について（案）
- ・上里町地域公共交通計画策定（スケジュール・アンケート）について（案）

（全ての協議事項において、出席構成員全員から承認を得られた。）

21. 利用者等の意見の反映状況

「こむぎっち号」利用者アンケート

対象者：こむぎっち号利用者

実施期間：令和4年8月29日から令和4年9月10日

回収数：中央ルート 34人（75.6%）

北部ルート（アグリパーク上里循環）1人（2.2%）

北部ルート（ユニクス循環）1人（2.2%）

南部ルート（アグリパーク上里循環）4人（8.9%）

南部ルート（ユニクス循環）5人（11.1%）

無回答 0人（0%）

前回（令和3年8月実施）と比較して、利用者の属性（性別・年齢・住所）に大きな変化はなかった。

片道のみ利用した方が、25%であった。

利用者の満足度については、前回72.7%から57.8%と低下した。不満と回答した方の割合は横ばいであり、無回答の方の割合が増加した。

運行便数に不満を感じている方が多く、停留所位置に不満を感じている方はいなかった。

22. 協議会メンバーの構成員

関係都道府県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 埼玉県本庄県土整備事務所道路部 ・ 埼玉県企画財政部交通政策課
関係市区町村	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上里町道路整備課 ・ 上里町町民福祉課 ・ 上里町まちづくり推進課 ・ 上里町高齢者いきいき課
交通事業者・交通施設管理者等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝日自動車株式会社 ・ 株式会社協同バス ・ 一般社団法人埼玉県バス協会 ・ 一般社団法人埼玉県乗用自動車協会 ・ 本庄地区タクシー協議会 ・ 東日本旅客鉄道株式会社 ・ 埼玉県本庄警察署交通課
地方運輸局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国土交通省関東運輸局埼玉運輸支局
その他協議会が必要と認める者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上里町区長会 ・ 上里町老人クラブ連合会 ・ 株式会社協同バス労働組合 ・ 駒沢大学応用地理研究所 専門研究員

【本計画に関する担当者・連絡先】

（住所） 埼玉県児玉郡上里町大字七本木 5518

（所属） 上里町役場総合政策課政策調整係

（氏名） 戸部 千愛

（電話） 0495-35-1238

（e-mail） sousei@town.kamsiato.lg.jp

表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行システムの概要及び運送予定者(地域内ファイダーシステム)

令和6年度

市区町村名	運送予定者名	運行系統名等 (申請番号)	運行系統			系統 キロ程	計画 運行 日数	計画 運行 回数	利便 増進 特別 措置	運送 継続 特別 措置	地域内ファイダーシステムの基準適合 (別表7・別表9・別表10)	
			起点	経由地	終点						運行態様の 別	基準ハで該 当する要件 (別表7・9)
上里町	株式会社 協同バス	(1) 中央ルート	アグリ パーク 上里	イオンタウン	ウニクス	往 15.2km 復 15.2km	308日	2464回			路線定期運行 ①	「ウニクス上里」補助対象幹線 系統朝日自動車株式会社神泉 総合支所線 ③
	株式会社 協同バス	(2) 北部ルート(ウニクス ス循環)	ウニクス	カインズホー ム	ウニクス	循環 18.5km	154日	924回			路線定期運行 ①	「ウニクス上里」補助対象幹線 系統朝日自動車株式会社神泉 総合支所線 ③
	株式会社 協同バス	(3) 北部ルート(ウニクス ス循環)(1便)	神保原 駅北口	カインズホー ム	ウニクス	往 11.7km (片道)	154日	77回			路線定期運行 ①	「ウニクス上里」補助対象幹線 系統朝日自動車株式会社神泉 総合支所線 ③
	株式会社 協同バス	(4) 北部ルート(ウニクス ス循環)(8便)	ウニクス	上里東公民 館	神保原 駅北口	往 6.7km (片道)	154日	77回			路線定期運行 ①	「ウニクス上里」補助対象幹線 系統朝日自動車株式会社神泉 総合支所線 ③
	株式会社 協同バス	(5) 南部ルート(ウニクス ス循環)	ウニクス	浅間神社	ウニクス	循環 15.1km	154日	1078回			路線定期運行 ①	「ウニクス上里」補助対象幹線 系統朝日自動車株式会社神泉 総合支所線 ③
	株式会社 協同バス	(6) 南部ルート(ウニクス ス循環)(8便)	ウニクス	浅間神社	神保原 駅南広 場	往 12.0km (片道)	154日	77回			路線定期運行 ①	「ウニクス上里」補助対象幹線 系統朝日自動車株式会社神泉 総合支所線 ③
	株式会社 協同バス	(7) 北部ルート(アグリ パーク循環)	アグリ パーク 上里	イオンタウン	アグリ パーク 上里	循環 14.3km	154日	1078回			路線定期運行 ②(2)	鉄道軌道駅(JR高崎線神保原 駅との接続) ③
	株式会社 協同バス	(8) 北部ルート(アグリ パーク循環)(8便)	アグリ パーク 上里	イオンタウン	神保原 駅北口	往 8.7km (片道)	154日	77回			路線定期運行 ②(2)	鉄道軌道駅(JR高崎線神保原 駅との接続) ③
	株式会社 協同バス	(9) 南部ルート(アグリ パーク循環)	アグリ パーク 上里	上里町役場	アグリ パーク 上里	循環 18.2km	154日	1078回			路線定期運行 ②(2)	鉄道軌道駅(JR高崎線神保原 駅との接続) ③
	株式会社 協同バス	(10) 南部ルート(アグリ パーク循環)(8便)	アグリ パーク 上里	上里町役場	神保原 駅南広 場	往 12.8km (片道)	154日	77回			路線定期運行 ②(2)	鉄道軌道駅(JR高崎線神保原 駅との接続) ③

(注)

1. 乗用タクシーによる運行の場合は、「運行系統名等」に運賃低廉化を行う運行サービスの名称を記載すること。
2. 区域運行又は乗用タクシーによる運行の場合は、運行系統の「経由地」に営業区域又は運賃低廉化対象地域を記載することとし、「起点」、「終点」、「終点」及び「系統キロ程」について記載を要しない。
3. 「系統キロ程」については、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで記載すること。なお、循環系統の場合には、往又は復のどちらかの欄に「循環」と記載すること。
4. 「利便増進特別措置」及び「運送継続特別措置」については、利便増進計画又は運送継続計画の認定を受け、地域内ファイダーシステムに係る特別措置の適用(別表9又は別表10)を受けて補助対象となる場合のみ「○」を記載する。
5. 「運行態様の別」については、路線定期運行、路線不定期運行、区域運行、乗用タクシーによる運行の別を記載すること。
6. 「補助対象地域間幹線系統等と接続の確保」については、地域内ファイダーシステムが接続する補助対象地域間幹線系統又は地域間交通ネットワークどのように接続を確保するかについて記載すること。
7. 乗用タクシーによる運行の場合は、「運行系統名」に「利便増進特別措置」について記載を要しない。
8. 本表に記載する運送予定システムを示した地図及び運行ダイヤを添付すること。乗用タクシーによる運行の場合は、営業区域を示した地図を添付すること。

表5 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要

市区町村名	上里町
-------	-----

(単位:人)

	人口
人口集中地区以外	24,471
交通不便地域等	6,011

交通不便地域等の内訳

人口	対象地区	根拠法
6,011人	埼玉県児玉郡上里町 簗、金下、金上、内出、西 金、勝一、勝二、原一、原二、 天神、真下、堀込、屋敷、宿、 東宮、十八軒四軒家、中五 明、南五明、下郷、宮、上郷、 久保、寺西、新堀、並木沖、 石倉丹蔵、岡、堀之内、 (JR高崎線 神保原駅及び 朝日自動車株式会社 本庄駅 南口～神泉総合支所線の 停留所から半径1キロメー トルの区域を除く)	局長指定

地域公共交通計画、地域公共交通利便増進実施計画、地域旅客運送サービス継続実施計画の策定年月日及び特例適用開始年度

計画名	策定年月日	特例適用開始年度
上里町地域公共交通網形成計画	令和2年3月	

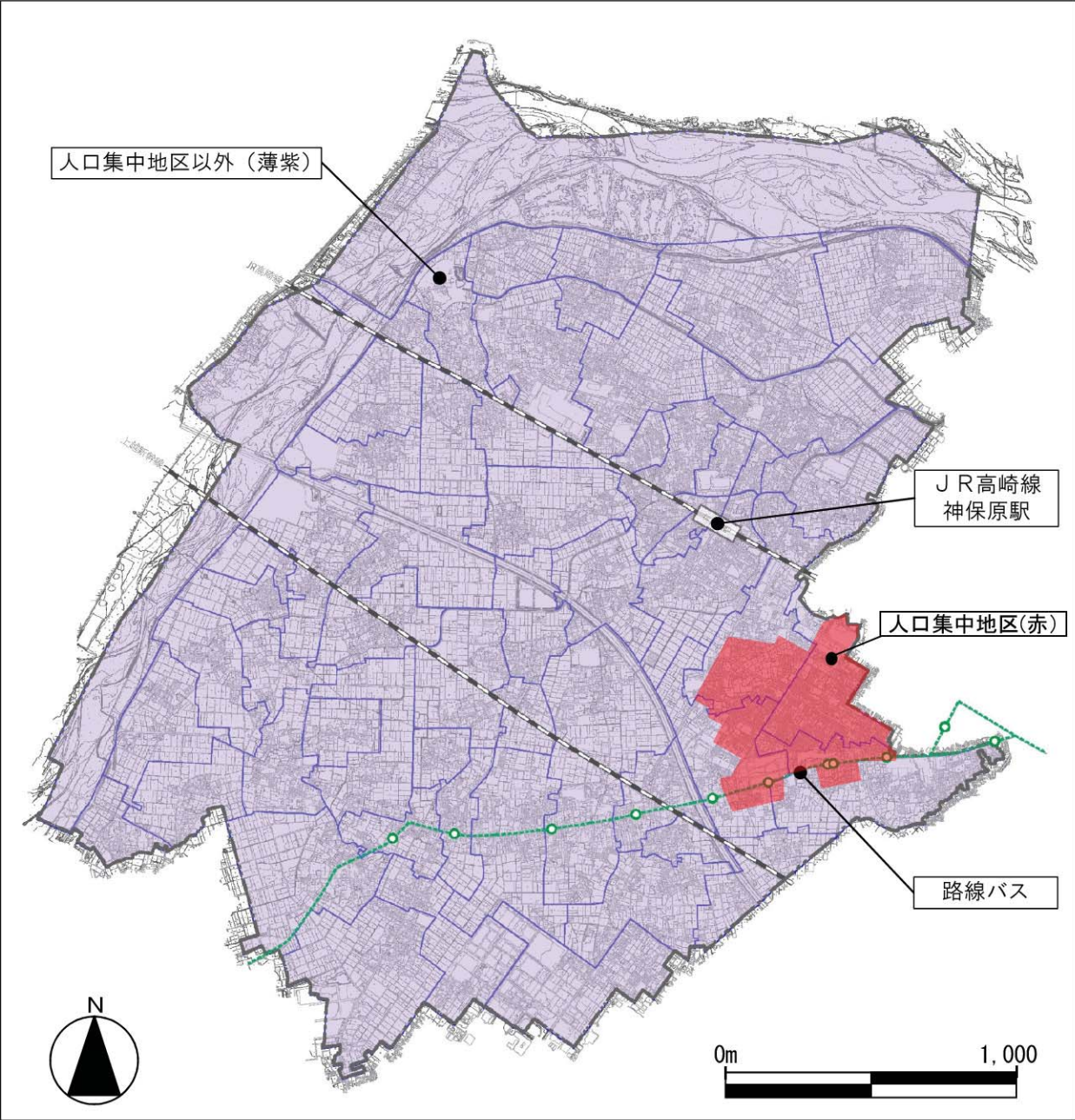
(1)記載要領

1. 人口は最新の国勢調査結果を基に記載すること。ただし、地方運輸局長等が指定する交通不便地域の場合は、申請する年度の前年度の3月末現在の住民基本台帳を基に記載すること。
2. 「人口集中地区以外」の欄は、国勢調査結果により設定された人口集中地区に該当しない地区の人口を記載すること。
3. 「交通不便地域等」の欄は、地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱(以下、「交付要綱」という。)の別表7(ハ②(1))に記載のある過疎地域の人口、交付要綱別表7(ハ②(2)(実施要領の2.(1)①))に基づき地方運輸局長等が指定する交通不便地域の人口及び交付要綱別表7リに基づき地方運輸局長等が認める地域の合計(重複する場合を除く)を記載すること。
4. 「対象地区」の欄には、当該市町村の一部が交付要綱別表7(ハ②(1))に掲げる法律(根拠法)に基づき地域指定されている場合に、根拠法ごとに当該区域の旧市町村名等を記載すること。また、地方運輸局長等が指定する交通不便地域等が存在する場合には、該当する区域名を記載すること。
5. 「根拠法」の欄は、交通不便地域を地方運輸局長等が指定した場合は、「局長指定」と記載すること。また、乗用タクシー以外での輸送が著しく困難であるものとして地方運輸局長等が認めた場合は、「局長指定(乗用)」と記載すること。
6. 「特例適用開始年度」の欄は、地域公共交通利便増進実施計画又は地域旅客運送サービス継続実施計画を策定し、特例を適用する場合に記載すること。

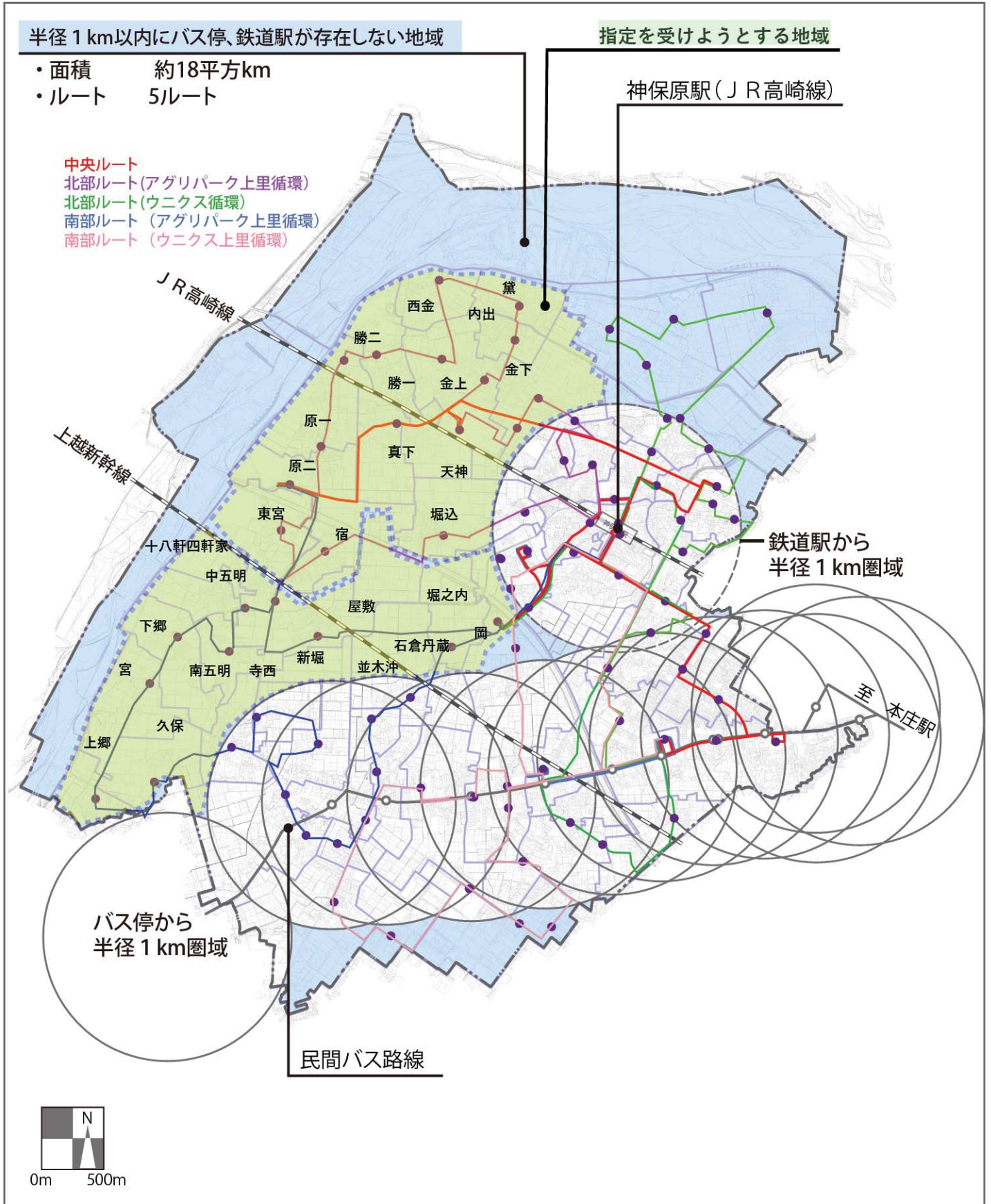
(2)添付書類

1. 「人口集中地区以外の地区」及び「交通不便地域等」の区分が分かる地図を添付すること。(ただし、全域が交通不便地域等となる場合には省略可)

人口集中地区区域図



上里町全図と交通空白地域



上里町地域公共交通網形成計画の変更について（案）

< 評価指標の変更 >

短期目標 1 町内公共交通の利便性向上により、公共交通利用者数の増加を図る
 施策 5 高齢者の公共交通利用支援

【変更理由】

令和 4 年 9 月に高齢者無料パス事業の制度の見直しを実施した。それに伴い、申請者が急増したため、評価指標の目標値（高齢者無料パスの発行件数：令和 6 年度までに 130 人）を令和 4 年度で達成した。引続き、高齢者による交通事故を未然に防止し、公共交通の利用を支援するため、新たな目標を設定する。

【変更案】

変更前：令和 6 年度までに 130 人

変更後：令和 6 年度までに 300 人

< 設定の考え方 >

令和 4 年度までの実績 209 人

直近 3 カ年の 70 歳以上の免許証返納者数は 103 人であり、そのうち約半数（約 50 人）の方が申請すると想定し、2 か年（令和 5・6 年）で約 100 人。令和 4 年度の実績が 209 人であるため合算し、令和 6 年度までに 300 人とする。

① 高齢者無料パス交付・利用実績

年 度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
交付者数累計（新規）	36 人	36 (0) 人	48 (12) 人	209 (161) 人
全体利用者数	16,018 人	11,781 人	14,178 人	16,017 人
無料パスのべ利用者	16 人	57 人	231 人	1,826 人
無料パス利用者の割合	0.10%	0.48%	1.63%	11.40%

②運転免許証保有者数・返納者数

年 度	免許保有者総数（年末現在）		免許証返納者数（年中）
		うち 70 歳以上	
令和 2 年度	22,060 人	3,866 人	114 人
令和 3 年度	22,106 人	4,063 人	97 人
令和 4 年度	22,117 人	4,268 人	99 人
3 カ年平均	22,094 人	4,066 人	103 人

【変更年月】

令和 5 年 1 0 月

変更前

施策5：高齢者の公共交通利用支援

① 施策内容

高齢者による交通事故を未然に防止し、公共交通の利用を支援するため、交通安全に関する講習を受講した高齢者を対象に、公共交通利用支援事業として「こむぎっちゃん」の高齢者無料バスを交付する。（令和元年度より実施）

② 実施主体 上里町

③ 実施スケジュール

施策名	短期 (R2~R6)					長期
	R2	R3	R4	R5	R6	
高齢者の公共交通利用支援						▲
						▲

④ 評価指標・評価スケジュール

評価指標	評価スケジュール				
	R2	R3	R4	R5	R6
高齢者無料バスの発行件数	◎	◎	◎	○	○

◎：実施、○：必要に応じて実施

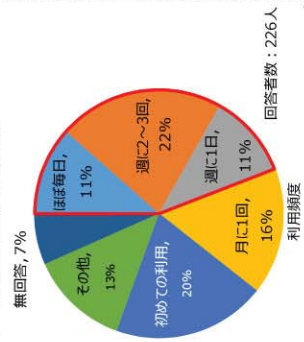
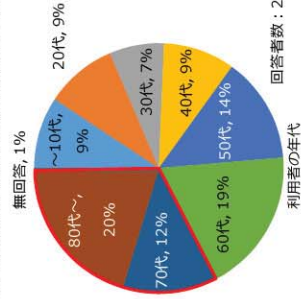
⑤ 評価指標の目標値

高齢者無料バスの発行件数：令和6年度までに130人

<設定の考え方>

平成28～30年度実施の利用者アンケートより、70代の利用者が全体の12%、80代が20%*であり、利用者の約4割が週1回以上の利用となっている。令和6年時点の利用者数目標の22,300人のうち、4分の1が高齢者無料バス対象者となり、さらにそのうち4割が少なくとも週1回1往復することを想定する。

*高齢者無料バスの対象者は75歳以上であり、アンケートの集計区分とは異なる。



回答者数：226人
(平成28～30年度利用者アンケートより)

変更後

施策5：高齢者の公共交通利用支援

① 施策内容

高齢者による交通事故を未然に防止し、公共交通の利用を支援するため、交通安全に関する講習を受講した高齢者を対象に、公共交通利用支援事業として「こむぎっちゃん」の高齢者無料バスを交付する。（令和元年度より実施）

② 実施主体 上里町

③ 実施スケジュール

施策名	短期 (R2~R6)					長期
	R2	R3	R4	R5	R6	
高齢者の公共交通利用支援						▲
						▲

④ 評価指標・評価スケジュール

評価指標	評価スケジュール				
	R2	R3	R4	R5	R6
高齢者無料バスの発行件数	◎	◎	◎	○	○

◎：実施、○：必要に応じて実施

⑤ 評価指標の目標値

高齢者無料バスの発行件数：令和6年度までに300人

<設定の考え方>

令和4年度までの実績 209人
直近3カ年の70歳以上の免許証返納者数は103人であり、そのうち約半数（約50人）の方が申請すると想定し、2か年（令和5・6年）で約100人。令和4年度の実績が209人であるため合算し、令和6年度までに300人とする。

年度	免許保有者総数（年未現在）		免許証返納者数（年中）
	うち70歳以上		
令和2年度	22,060人	3,866人	114人
令和3年度	22,106人	4,063人	97人
令和4年度	22,117人	4,268人	99人
3カ年平均	22,094人	4,066人	103人

運転免許証保有者数・返納者数（市町村別運転免許保有者等の資料より）